

メイラード反応抑制剤の探索



渡辺 寛人

Hirohito Watanabe

農学部 生命科学科 生体機能物質学研究室

School of Agriculture, Department of Life Sciences

研究目的	糖尿病合併症の原因となる生体内メイラード反応を抑制する食品・生体成分を探索し、その抑制機構を明らかにする。
研究内容	メイラード反応とはアミノ基とカルボニル基との間でおきる反応であり、とくに糖尿病患者の生体内ではこの反応が亢進している。メイラード反応により生じたタンパク質の修飾構造はAGE (advanced glycation end products) と呼ばれ、糖尿病合併症の原因の1つであるとされている。メイラード反応の抑制剤は、AGEの生成を阻害し、合併症の発症・進行を抑制する作用をもつと期待される。



●お問合せ先●

明治大学 研究推進部 生田研究知財事務室

TEL: 044-934-7639 E-mail: tlo-ikuta@mics.meiji.ac.jp

2014年6月改訂